

「ありがとう」の 気持ちを伝えよう

岡山市・芳泉小5年 與曾井 美希

「えっ、岡山県が全国最低？」

信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしたときに一時停止した車の割合を日本自動車連盟（JAF）が今年8月に調査した結果を知って驚きました。岡山県はたったの10・3パーセントで、昨年のワースト3位から、さらに順位を落としたのです。

私も登下校で信号機のない横断歩道を渡らなければなりません。朝は特に急いでいる

車が多く、猛スピードで私たちのそばを横切り「危ないな」と思うことがよくあります。

「横断歩道は私たち歩行者優先で、一時停止はマナーではなく交通ルール。大人なのに、なんで守れないんだろう？」そんなことを考えていたとき、この写真が目飛び込んできました。横断歩道で停車してくれる人もいます。でも、私は「交通ルールだから、停車は当たり前」と思って、横断するとき軽く頭を下げる

だけでした。頭も下げずにそのまま渡る子も多いです。もし、私がドライバーで、急いでいるときに一時停止をしても、小学生が当たり前のように横断したら、腹が立って「次はもう停まらない！」とルールを無視するかもしれないと思いました。でも、きちんとおじぎをしてありがとうの気持ちを伝えてくれたら、嬉しくなって「停車してよかった。次も停まろう。」と、きつと思うでしょう。車が一

時停止しないのは、私たち歩行者にも原因があるのかな、と考えました。横断歩道では手を挙げて、横断の意思を伝え、横断時は「停まってくれてありがとうございませう」とドライバーの目を見て感謝の気持ちを伝えることが大切です。

写真の男の子が通っている美咲町加美小学校区の横断歩道一時停止率を調べたら日本一なんじゃないかな？と思いました。私は、友だちに声をかけて「挙手&感謝」を私たち小学生から始めようと思いました。

この写真1枚から、いろいろなことに気付き、考えることができました。

春本番前の朝、見慣れた道と空が輝いて見えた。
美咲町立加美小（同町原田）に登校する児童。横断歩道を渡り終え、くろりと向き直ると姿勢を直し、停車したドライバーに深々と頭を下げた。ためらうこともない自然な姿がすがすがしい。

写 録 2021

同校で特に指導しているわけではなく、上級生から自然に受け継がれたのだという。私たち大人が、いつの間にか置き忘れたかもしれない「美しい心」。それは、小さな灯を心の奥にともしてくれた。

（文・写真 田村文明 画像の一部を加工しています）

「ありがとう」お辞儀に込めて



2021年3月11日付 山陽新聞

寸評

信号機のない横断歩道で車が一時停止しない問題について、ドライバーや歩行者の気持ちを想像して丁寧な表現で改善策を示しており、真っすぐな気持ちが伝わる文章です。

時停止しないのは、私たち歩行者にも原因があるのかな、と考えました。横断歩道では手を挙げて、横断の意思を伝え、横断時は「停まってくれてありがとうございませう」とドライバーの目を見て感謝の気持ちを伝えることが大切です。写真の男の子が通っている美咲町加美小学校区の横断歩道一時停止率を調べたら日本一なんじゃないかな？と思いました。私は、友だちに声をかけて「挙手&感謝」を私たち小学生から始めようと思いました。この写真1枚から、いろいろなことに気付き、考えることができました。